



大好き いばらき



交流サルーンいばらきで開催した「NPO・地域活動団体のための事業評価の手法を学ぶ」講座の様子

CONTENTS

● 家族・地域の絆づくり運動	2・3
● 大好き いばらき 県民運動表彰式	4・5
● 大好き いばらき ネットワーカー活動推進大会	6・7
● 花いっぱい運動のつどい	8
● 大好き いばらき ふるさと自慢	9
● 露ヶ浦・北浦地域清掃大作戦	10
● 交流サルーンいばらき	10
● いばらき教育の日推進大会	11
● 茨城県生活学校連絡会研究集会	11
● information	12

大好き いばらき 県民運動

福祉社会づくり 生活環境づくり
人づくり 茨城の風土づくり

各地域で行われている青少年育成、
福祉・生活環境など、さまざまな分野
での活動を、県民や団体、企業、行政が
手をつないで支えあい、やさしさと
ふれあいのある茨城を創っていく運
動、それが「大好き いばらき 県民運
動」です。

家族・地域の絆づくり運動

東日本大震災を契機として、私たち一人ひとりが家族や地域の絆の大切さを再認識し、その思いをつないでいくため、様々な取組みを行っています。

平成25年度は、キャンドルナイトリレーと大好き いばらき キャンドルナイトを開催しました。

キャンドルナイトリレー

県内15か所で行われた、キャンドルナイトをつなぐ取り組みを行いました。各会場では、参加者の方から絆に関する寄せ書きを頂き、多くの皆さんの思いを紡ぐことができました。

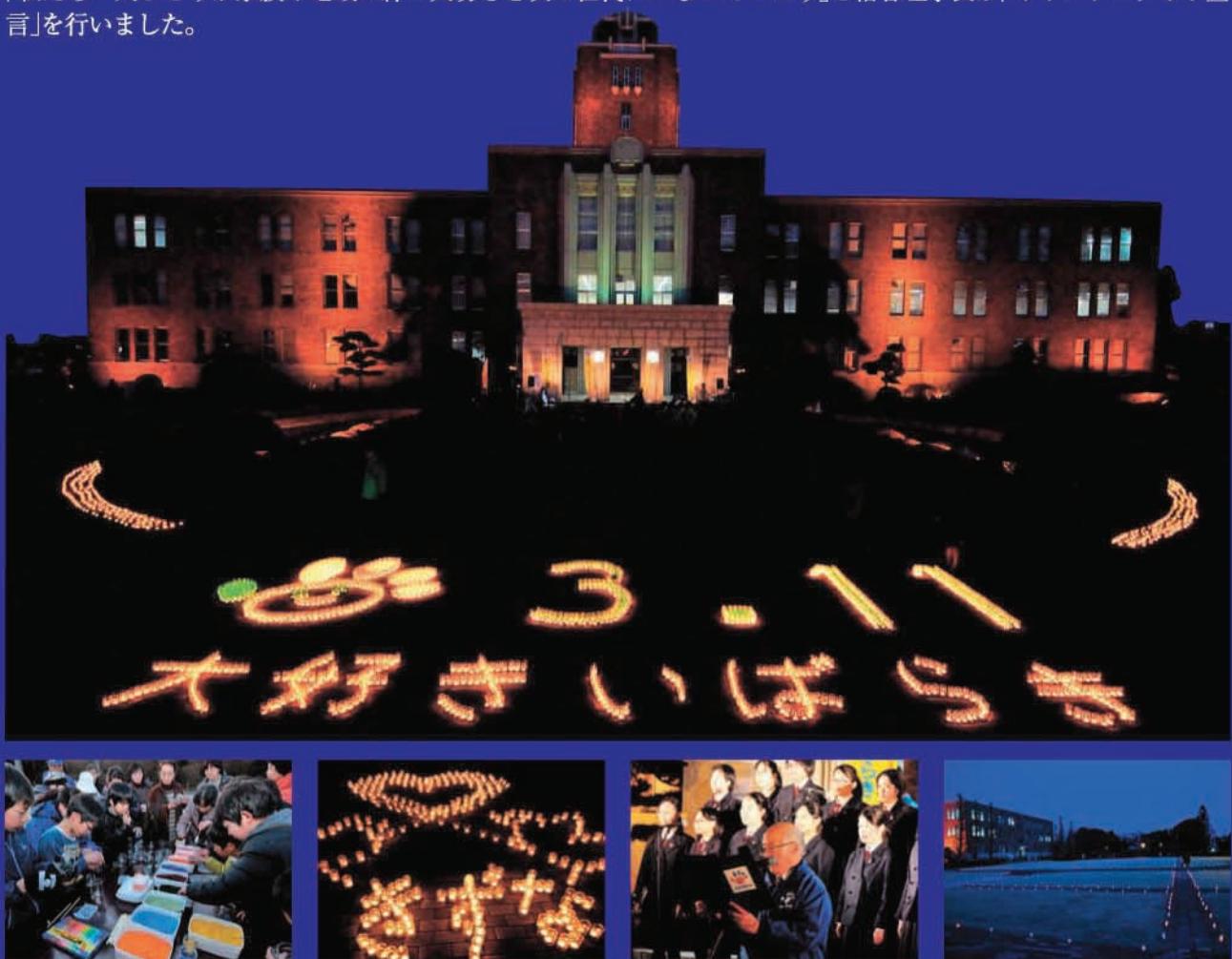


大好き いばらき キャンドルナイト

3月11日(火), 茨城県三の丸庁舎において「大好き いばらき キャンドルナイト」を開催しました。

会場では約5,000本のキャンドルを灯し、約250名の参加者全員で、東日本大震災の犠牲者に黙祷を捧げました。広場では、キャンドルナイトリレーで思いを紡いできた寄せ書きの展示や、キャンドル作りワークショップを行ったほか、企業・団体・個人がキャンドルを持ち寄り、キャンドルナイトを実施しました。

また、催事では、県立水戸第二高等学校コーラス部やNHK文化センター水戸教室による合唱等が行われ、最後に「私たち一人ひとりが家族や地域の絆の大切さを次の世代につないでいこう」と幡谷理事長が「キャンドルナイト宣言」を行いました。



同時開催

3月11日(火)利根町役場玄関前において、利根町ネットワーカー協議会主催のキャンドルナイトが開催されました。

東日本大震災の犠牲者に黙祷を捧げ、利根町混声合唱団による合唱が行われました。

利根町の町民が参加し、絆が深まる一日となりました。



第41回
花と緑の環境美化
コンクール



平成25年度 大好き いばらき

平成25年11月18日(月),茨城県庁9階講堂において、「大好き いばらき 県民運動表彰式」を開催しました。

花と緑の環境美化コンクールは、「花いっぱい運動」で素晴らしい成果を上げている地域・団体・職場・学校を表彰し、地域住民及び児童・生徒の環境美化に対する関心を高め、花いっぱい運動を推進することを目的に実施しています。今年は、856の団体・学校から応募があり、厳正な審査の結果、70団体が入賞し、表彰状が贈られました。

茨城県知事賞



【フラワーロードの部】
小松 喜楽会(常陸大宮市)



【地域の部】
小舟下 瞳美会(常陸大宮市)



【団体・職場の部】
谷河原高砂会(常陸太田市)



【学校の部】
茨城町立駒場小学校



【学校の部】
水戸市立柳河小学校



【学校の部】
高萩市立松岡幼稚園



【学校の部】
阿見町立吉原小学校



【学校の部】
筑西市立村田小学校

審査評

中央審査委員長 葉梨 修

今年は、連日の猛暑に加え、8月の降水量が少なかったことなどの影響もあり、水やり、花つみ、草取りなど、花壇づくりは例年にもまして大変ご苦労が多かったことだと思いますが、中央審査に合わせて、立派な花を咲かせた関係者の皆様方に敬意を表する次第です。

花づくりを通して、未来の茨城を担う子どもたちの協力しあう心や勤労奉仕する精神、生命を大切にする心などを育むことができると思います。

花づくりは人づくり、そして地域づくりです。花いっぱい運動を通して、やさしさとふれあいのある茨城づくりや、おもてなしの心の輪が県内全域にますます広がっていくことを期待します。

【応募数】

フラワーロードの部	38
地域の部	448
団体・職場の部	97
学校の部	273
合計	856

【表彰団体数】

茨城県知事賞	8団体
茨城県議会議長賞	7団体
茨城県教育委員会教育長賞	8団体
茨城新聞社長賞	8団体
茨城県花き園芸協会长賞	8団体
茨城県造園建設業協会长賞	8団体
大好き いばらき 県民会議理事長賞	23団体

県民運動 表彰式

第24回
大好き いばらき
作文コンクール

今年は、常陸国風土記編さんから1300年という節目の年にあたります。これを機会に、未来を担う子どもたちに、茨城の豊かさ・暮らしやすさ、伝統文化の素晴らしさに加え、昔の人が育んできた家族や地域の絆を再確認しながら、自分自身を見つめ直し自分の将来について考え、10年後、20年後のいばらきを想像してもらうため、「いばらきの未来、私の夢」をテーマに作文を募集しました。

今年度は478小中高校の児童生徒ら8506人から応募があり、厳正な審査により入賞した48人に表彰状が贈られました。



茨城県知事賞



小学校低学年の部
「未来のいばらきで」

古河市立古河第一小学校
岩田 真生さん



小学校高学年の部
「ぼくのゆめ、おいしい茨城」

牛久市立中根小学校
滝本 健一郎さん



中学校の部
「青空に思うこと」

かすみがうら市立南中学校
稻生 美歩さん



高等学校の部
「安心で安全な茨城を目指して」

県立佐和高等学校
増子 果歩さん

審査講評

審査委員長 茨城大学教育学部教授 川嶋 秀之

今年寄せられた作品の特色としましては、東日本大震災に関するものがやや減少し、代わって茨城の食や農業に関するものが多くなったことが挙げられます。茨城の食べ物のおいしさや豊かさとそれを生み出す農業という仕事、そしてそこで働く人たちに目を向けている作品に力作が多く寄せられました。また、自分の住んでいる地域のあり方や人々の絆について、身近なことを振り返って見直している作品も目立ちました。

常陸国風土記編さんから1300年を迎える地元を見つめる精神のあり方は時間を越えて児童・生徒さんの心に生きていると感じられました。各学校の先生方のご指導に謝意を表します。

【応募数】

小学校低学年の部	792
小学校高学年の部	2,697
中学校の部	4,600
高等学校の部	417
合計	8,506

【表彰者数】

茨城県知事賞	4名
茨城県議会議長賞	4名
茨城県教育委員会教育長賞	4名
茨城新聞社長賞	4名
大好き いばらき 県民会議 理事長賞	32名

平成25年度 大好き いばらき ネットワーカー等活動推進大会

県民運動を地域で支える

ネットワーカー活動紹介



県内各地において地域活動を実践し、県民運動の普及に努めている「大好き いばらき ネットワーカー」(県民運動地域推進員)等が集い、活動の推進と交流を図るため、ネットワーカー等活動推進大会を開催しました。

ネットワーカー活動推進大会全県大会

誰もが大好きといえる茨城づくり

11月17日(日) 取手市民会館



県内のネットワーカーなど、約300人が参加し、全県大会を開催しました。

オープニングでは、3人以上で2本の縄を使って跳ぶ縄跳びである「ダブルダッチ」の世界選手権で優勝した実績を持つ、地元取手市の中高生などのチーム(DIANA)によるアトラクションがあり、すばらしい演技に会場は一気に盛り上りました。

常総線沿線の6市町及びネットワーカー協議会等が平成23年度から実施している婚活パーティーの取組状況等についての報告のあと、「これからの大好き いばらき 県民運動とネットワーカーの役割」をテーマとしてシンポジウムを開催しました。

(株)茨城新聞社地域連携室統括の富山章一さんをコーディネーターに、NPO法人、ボランティアグループ、コミュニティの代表などの活動状況の報告、参加者との意見交換等が行われました。

参加者からは、「これから県民運動を進めるうえでネットワーカーの役割が期待されていることが分かった」などの意見が多く寄せられ、有意義な大会となりました。



3月14日(金)
大子町文化福祉会館
「まいん」

誰もが大好きといえる 茨城づくり



茨城大学の斎藤典生特任教授を講師に迎え、「むすんでひらいて」の社会を創ろう」をテーマに講演が行われました。講演の後は、県北ブロックのネットワーカーの協議会からの活動の紹介が行われ、最後に開催地である大子町ネットワーカー協議会の活動紹介として、森のおはなし会による読み聞かせが行われました。

講演や活動報告を通じて、ネットワーカー活動の質を高める大会となりました。



2月26日(水)
利根町公民館集合

利根町内バスツアー



県南ブロック約150名のネットワーカーが集い、3台のバスに分乗して利根町内を巡りました。利根町公民館を出発後、利根浄化センターでは流域下水道について学び、柳田國男記念公苑では「とねまち ひな飾り」の美しい吊るし雛や資料館を見学しました。市内の寺社なども訪ねました。水と歴史の利根町を満喫しながら交流を深めた一日でした。



10月18日(金)
ひたちなか市大島
コミュニティセンター

誰もが大好きといえる 茨城づくりinひたちなか ～地域の絆づくり～



コーディネーターに、常磐大学コミュニティ振興学部教授 池田幸也氏を迎えて開催されました。7地区のネットワーカーが活動報告を行った後、シンポジウムでは「ネットワーカー活動の改善に向けて」と題した池田先生の講話があり、地域の絆をつくるネットワーカー活動の課題と重要性を再認識しました。



11月30日(土)
潮来市営駐車場出発

ふるさと大発見！ 潮来いいとこめぐり



ネットワーカーの絆をさらに深め、楽しんでもらいたいと企画されたバスツアーに46名が参加しました。茨城県水郷県民の森を散策の後、活動報告と意見交換を行いました。次に利根川沿いの水郷北斎公園に移動し、石蔵のイベントホール北斎遊学館の土曜市と潮来市の古刹長勝寺を見学しました。潮来のいいところを巡り、絆の深まる一日になりました。



認定証の交付



「認定花壇」看板の贈呈

講師紹介

水戸植物公園 園長
西川綾子氏

東京都出身。筑波大学農林学類で花卉園芸学を専攻。水戸市植物公園開園時(昭和62年)より勤務。現在園長として活動しながら、NHKテレビの「趣味の園芸」の講師や各地での植物・園芸に関する講演・花壇づくりなど、精力的にご活躍中です。



講話の様子

花いっぱい運動定着化促進事業支援団体一覧

【団体の部】

大宮警察署東富町交番withおがわ花の会(常陸大宮市)
カラフル 笑顔 見える地区の会(小美玉市)
羽鳥東区6班(小美玉市)
小美玉市生涯学習センターコスモス(小美玉市)
小美玉市五万堀区(小美玉市)
稻木長寿会(常陸太田市)
佐竹南台クラブ(常陸太田市)
土浦市六中地区コミュニティセンター(土浦市)
東みどり野シニアクラブ(牛久市)
栄西シニアクラブ栄寿会(牛久市)
牛込根本老人クラブ「太陽クラブ」(美浦村)
上舟子老人会(美浦村)
利根フレッシュタウン栄寿会(利根町)

【学校の部】

ひたちなか市立枝川小学校
大洗町立大賀小学校
城里町立桂小学校
城里町立七会小学校
大子町立袋田小学校
日立市立河原子中学校
日立市立中小路小学校
北茨城市立明徳小学校
県立鉢田第二高等学校
土浦市立土浦第四中学校
石岡市立三村小学校
稻敷市立あずま南小学校
古河市立駒羽根小学校

大好き いばらき ふるさと自慢

— いばらきの魅力再発見 —



大好き いばらき 県民会議では、茨城のイメージアップ及び県民の郷土に対する愛着や誇りを高めるため、本県の隠れた魅力を発掘し紹介を行うふるさと自慢事業を展開しています。

ネットワーカー（県民運動地域推進員）が発見した、選りすぐりのふるさと自慢をご紹介します。詳しい内容は、大好き いばらき 県民会議のホームページでもご覧いただけます。

(<http://www.daisuki-ibaraki.jp/furusato.html>)

海の生活から生まれた民謡「網のし唄」(ひたちなか市)



平磯と那珂湊が天下に知られた漁港だった頃、マグロ漁を終えた漁師たちは、次の漁に備えて砂浜に新しい網を広げ、網の目を締めました。その時に、歌ったのが「網のし唄」です。

この唄は機械船の導入とともに衰退しましたが、戦後に魅力ある民謡として復活しました。

◎推薦者

ひたちなか市ネットワーカー連絡協議会 会長 桐原 悅子

仙台藩伊達家ゆかりの「伊佐城跡」(筑西市)



伊佐城は、常陸国伊佐郡にあった伊佐氏の城で、その東を勤行川に接する台地に建てされました。南北朝時代に落城しましたが、現在は「伊佐城跡」として、県指定文化財に指定されています。

伊佐城跡に建つ觀音寺には、寺宝の伊達氏ゆかりの品々が残されています。

◎推薦者

筑西市ネットワーカー協議会 会長 関根 静子

「八千代ワイン・夢」が誕生!(八千代町)



八千代ワインチャレンジ会（総勢 23名）では、廃園した梨畠の棚を利用してワイン葡萄を栽培し、ワインづくりに取り組んでいます。その名も「八千代ワイン・夢」。香りや味が良いワインで人気が高く、栽培者も年々増え、栽培面積は 1ha を超える勢いです。

◎推薦者

八千代町ネットワーカー等連絡協議会 会長 大久保 英男

目指せ!3000本の桜並木「桜のまちづくり坂東市民会議」(坂東市)



坂東市では平成 22 年に、「3000 本の桜並木を作ろう」と、「桜の里親制度」をスタートさせました。「桜のまちづくり坂東市民会議」では、市民の立場でこの運動を啓発するために、「さくらまつり」や「ホコテン」など、市内の主要なイベントで PR 活動をしています。

◎推薦者

坂東市ネットワーカー連絡協議会 会長 飯住 澄夫

地域の憩いの場を目指して「古墳公園」(牛久市)



以前は、不法投棄の溜り場だった林を、地権者の協力を得て、周辺住民の皆さんで下草刈から落ち葉拾いなどの作業を行い、古墳公園（仮称）として蘇らせました。林の中には直

径 5m 前後の小さな古墳がいくつもあり、文化財的にも重要視されています。

◎推薦者

牛久市ネットワーカー連絡協議会 会長 村武 修司

縄跳び?ダブルダッヂ!DIANA(取手市)



ダブルダッヂとは、3人以上で 2 本の縄を使って跳ぶ縄跳びです。DIANA（ディアナ）は、2007 年に中学生 4 人で結成し、2011 年から世界選手権大会で 3 連覇中。小学生チーム「皆跳（ミナト）」と共にダブルダッヂの楽しさを広める活動をしています。

◎推薦者

取手市ネットワーカー等連絡協議会 会長 彦坂 三矢子

第81回 霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦 拠点地区事業を実施

霞ヶ浦問題協議会、(公財)茨城県企業公社、阿見町との共催により、3月2日(日)に予科練平和記念館周辺の霞ヶ浦湖岸において、第81回霞ヶ浦・北浦清掃大作戦を実施しました。

当日は、悪天候にも関わらず、企業・団体・行政・個人など、約400名が参加しました。

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地武器学校の皆さん、「駐屯地が予科練平和記念館に隣接しているので参加しました。周辺の環境を守っていく大切さを実感しています」と、また、東京海上日動火災保険(株)の皆さん、「今日は県内各地の支店から参加しています。茨城で仕事をしているので、茨城の自然をきれいなまま残していきたいです」と話していました。

この日集められたゴミは約2トン、ペットボトルや空き缶が多く、一人ひとりの「自分は捨てない」という心がけの大切さを改めて実感した活動となりました。



清掃前に行われたセレモニーの様子



清掃の様子

交流サルーンいばらき

交流サルーンいばらきは、NPOやボランティア活動などの社会貢献活動を行う団体の活性化を図り、豊かな地域づくりを進める目的として、平成11年11月11日に茨城県が設置し、大好きいばらき県民会議が運営しています。地域活動団体への支援として、印刷機や会議室などの施設の提供や、NPO等の運営基盤の強化を目的とした講座の開催、地域活動に関する情報発信などを行っています。

平成25年9月20日と10月11日に、武藏大学社会学部メディア社会学科の粉川一郎教授を講師に、連続講座「NPO・地域活動団体のための事業評価の手法を学ぶ」を開催しました。

今後も交流サルーンいばらきでは、県内の地域活動団体の皆様のためのサービスを行っていきますので、是非ご活用ください。



連続講座：講義の様子



連続講座：グループワークの様子

連続講座参加者の声

- 今後は、活動の根拠を文字にすることで目標を明確にして、団体内で共有できるようにしたいです。
- 事業計画は、常に評価を考えて作るべきだと学びました。NPOの事業は、決して自己満足だけでは続かないということを感じました。
- 今回学んだ事を自分たちの活動に応用したいです。
- 事業の計画段階で、事業の成果基準を考えて企画しているかを考えさせられました。
- 自分の団体において、合議の中で事業計画を立てていきたいと思いました。



みんなで教育を考える

第14回 「いばらき教育の日」 推進大会

茨城県は、11月を教育月間、11月1日を「いばらき教育の日」と定めています。この日に開催される「いばらき教育の日推進大会」は、県民みんなで教育を考え、学校・家庭・地域社会が連携して教育の充実と発展を図り、豊かな心と確かな学力を備えた明日の茨城を担う子どもたちを育成し、生涯にわたって自ら学び、郷土を愛し、地域社会の形成に主体的に参画する人づくりを目的としています。



平成25年11月1日(金)午前10時から、県民文化センター大ホールで開催された今年の大会では、優秀標語の表彰や善行表彰、優秀教員の表彰、小中学生による活動発表が行われ、午後からは、子どもの人権のスペシャリストである、弁護士の坪井節子さんの記念講演が行われました。大会の開催を通じて、教育の重要性を再認識する有意義な一日となりました。



◆記念講演 「子どもたちに寄り添う」 ～いじめ・虐待・非行の現場から～



弁護士・社会福祉法人
カリヨン子どもセンター理事長
坪井節子氏

1987年11月から、東京弁護士会子どもの人権救済センター相談員に就任後、同弁護士会子どもの人権と少年法に関する委員会委員、日弁連子どもの権利委員会幹事などを歴任。2004年6月から、NPO法人カリヨン子どもセンター、2008年3月から、社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長。

～エコ生活を見直してみませんか～ 平成25年度 茨城県生活学校連絡会研究集会 環境から考える食品ロス (廃棄食材)について

大好き いばらき 県民会議が活動を支援する生活学校は、「身近な生活課題を生活者の視点で解決しよう」を基本理念として環境問題、高齢者、子育て支援、食の問題等、暮らしやすい地域社会づくりに取り組んでいる団体です。

平成20年度からは「食と農を通したエコライフ運動」に取り組み、平成25年度からは、環境から考える食品ロス(廃棄食材)について調査し、活動を行っています。



平成26年2月19日(水)、茨城県三の丸庁舎において、茨城県生活学校連絡会研究集会が開催されました。ファイナンシャルプランナー・中村真佐子氏による「食品ロスを通じて考える家計管理」をテーマとした講演や、廃棄食材についてのアンケート調査報告、アンケート調査から見える課題とこれからの実践に向けてのワークショップ等が行われました。

アンケート結果(平成25年8月調査結果)によると、一家庭あたり10日間で平均973円の食品が捨てられているとのことでした。「一人ひとりの力は小さくても、みんなの力をつなぐことで地球を守ることができるので、今後も取り組みを進めていこう」と決意を新たにした研究集会でした。

information

第13回 大好き いばらき

ふれあいまつり

今年も三の丸から春だより。

日時 4/5²⁰¹⁴(土) 10:00～16:30

■県立図書館 9:00～17:00

*雨天時は6日(日)に順延

会場 茨城県三の丸庁舎 特設会場

(水戸市三の丸)

みんなの笑顔が地域の元気をつくろう！

ご当地グルメコーナー

ふれあいひろば

キッズコーナー

体験コーナー

バザーコーナー

ふれあいウォーキング

三の丸周辺をウォーキング。水戸の史跡などを巡り歩こう！

事前参加費付申込

ふれあいスタンプラリー

イベント会場周辺で

スタンプをGet！

ステキなプレゼントを当てよう！

わくわく体験イベント

牛乳パック工作、昔遊び、色えんぴつティッサンなど、

楽しい体験してみよう！

ステージイベント

● ふれあいまつりセレモニー

● 水戸工業高校ジャズバンド部「BLUE BEGINNERS」

● 大洗高校マーチングバンド部「BLUE-HAWKS」

● なっとうどーもくんクイズ大会など



ふれあいまつりでは、ゴミ削減のため、使い捨て容器ではなくリユース食器を使用いたします。

皆さんにもゴミ持ち帰り、マイバッグ持参等、環境に配慮したまつりに、ご協力をお願いいたします。

県三の丸庁舎駐車場は、イベント当日は利用できません。

● 「いばらき身障者専用駐車場利用証」持参の方のみ、障害者用駐車場を利用できます。

● 県立図書館駐車場は、図書館利用者のみが利用できます。

ご来場の際は、市内循環バス等、

公共交通機関をご利用ください。



同時開催

■ 県立図書館イベント (13:30～15:10) 実写版「忍たま乱太郎」

■ 弘道館入場無料

■ 三の丸庁舎ライトアップ

■ お堀の桜ライトアップ

■ 頃強れ水戸ッボさくら・さよなら水府橋(ホーリーピッチ周辺)

■ 桜の名所漫遊バス



大好き いばらき 県民会議

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38茨城県三の丸庁舎2F
TEL029-224-8120 FAX029-233-0030

URL <http://www.daisuki-ibaraki.jp/>

E-mail info@daisuki-ibaraki.jp

ブログ <http://d.hatena.ne.jp/daisukiibaraki>

ツイッター <https://twitter.com/daisukiibaraki>

編集後記

広報部会員として6年間の任期が、この第51号を以て満了となりました。ご愛読いただきました皆様に心から御礼を申し上げます。6年前、広報部会員を担当するに当たり、一人でも多くの県民の皆様方に、この広報紙を手に取っていただき、更にその広報紙の1ページを開き、2ページへと目を向けて、お読みいただくことを目標に編集活動に努力いたしてまいりました。

先輩達が築き上げてきた活動を継続出来たことに喜びを感じております。

今後とも、大好き いばらき 県民運動の情報発信の原点でもある、広報紙「大好き いばらき」のご愛読をお願い申し上げます。

6年間のご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

広報部会長 照沼一美